

総務省提出資料 (放送コンテンツの海外展開)

平成29年4月4日

放送コンテンツの海外展開の促進

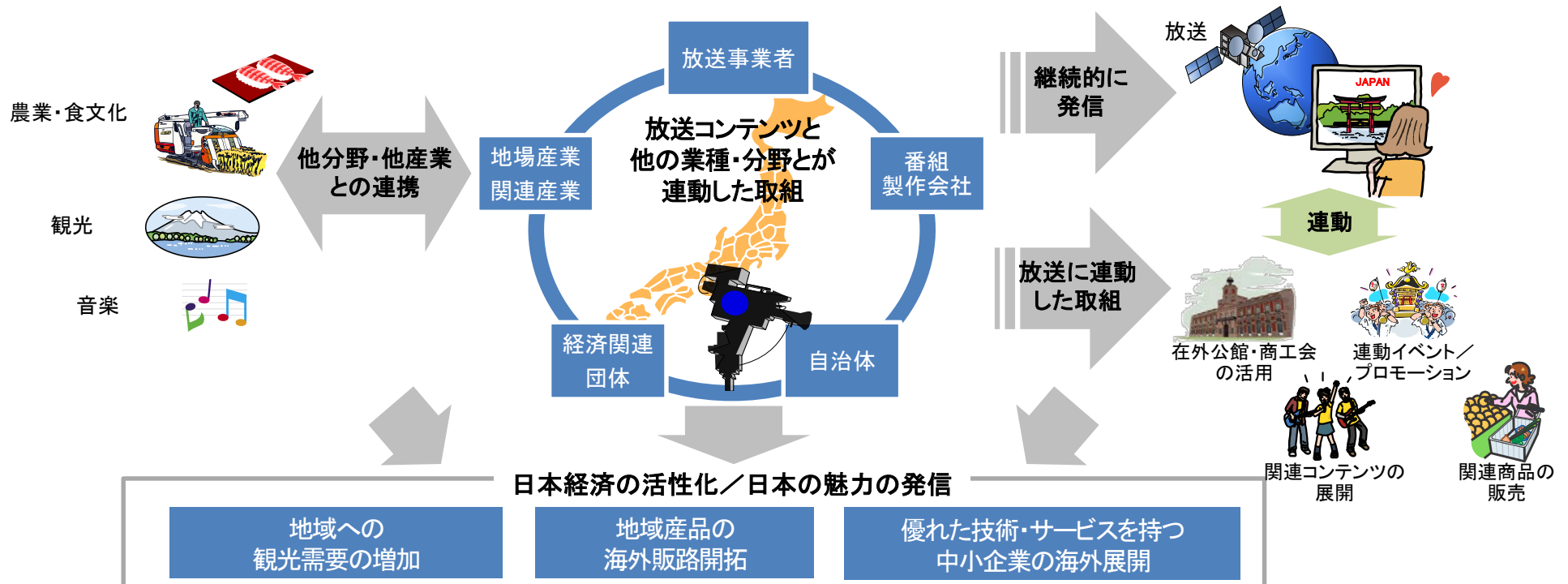
<概要>

放送コンテンツを制作する民間事業者等と、他分野・他産業（観光業、地場産業、他のコンテンツ等）、地方公共団体等の関係者が幅広く協力し、「クールジャパン戦略」、「ビジットジャパン戦略」及び「地方の創生」等に資する放送コンテンツを制作、発信するとともに、様々な連動プロジェクトを一体的に展開する取組を支援する。

平成28年度第2次補正予算
平成29年度当初予算

放送コンテンツ海外展開基盤総合整備事業
放送コンテンツ海外展開助成事業

13.4億円
2.4億円



①大規模型

放送コンテンツ海外展開基盤総合整備事業 （平成28年度第2次補正予算）

- ・ 海外の有力なメディアにおいて、適切な時間に、長期間定期的に放送。
- ・ 他分野・他産業、地方公共団体等と幅広く連携し、日本ブランド全体のイメージ向上に資する内容であり、原則として、複数の都道府県を取り上げる事業企画を募集。
あわせて、放送と連動した事業を継続的に展開。

【スケジュール】

- ・ 28年12月26日～29年1月27日：事業企画の募集
- ・ 29年3月17日：事業企画の採択発表

②小規模型

放送コンテンツ海外展開助成事業 （平成29年度当初予算）

- ・ 海外の有力なメディアにおいて、適切な時間に、長期間定期的に放送。
- ・ 事業費の一部を国から補助。
- ・ 他分野・他産業、地方公共団体等と連携し、地域の魅力を詳細に取り扱う事業企画を募集。

【間接補助事業スケジュール】

- ・ 29年4月～5月ごろ：事業の公募開始
- ・ 29年夏前ごろ：事業の交付決定

（参考）直接補助事業スケジュール

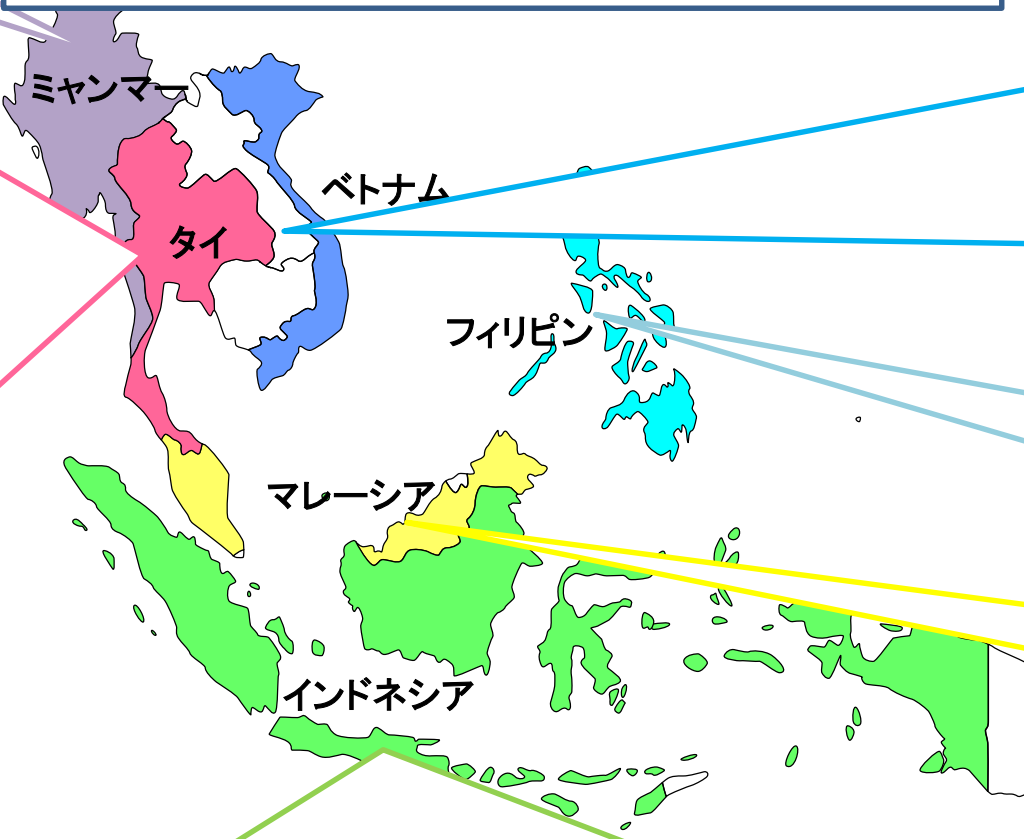
- ・ 29年3月1日～3月22日：直接補助事業の公募
- ・ 29年4月ごろ：直接補助事業の交付決定

<ベトナム・ミャンマー>

- 日本で人気の幼児番組のベトナム版及び日本を舞台にしたミャンマー人家族のドラマ。(日本国際放送)

<インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー>

- 日本や日本語に対する興味喚起を目的とした親子で楽しく学べる日本語教育番組。(WAKUWAKU JAPAN)



- 日本各地を豪華と質素の2通りの旅で巡り、文化・歴史などを紹介する情報番組。(関西テレビ・石川テレビ・新潟総合テレビ)

- 「ニッポン体験」をテーマに在日ベトナム人が「旅」を通じて日本各地の魅力を紹介する番組。(TBSテレビ)

- 「国際結婚夫婦」をテーマに、日本人への信頼感、日本の環境の良さなどを紹介する番組。(朝日放送・大分朝日放送)

- 富裕層・知識人層および若年層をターゲットに、観光・ビジネス情報を発信する番組。(フジテレビジョン・テレビ熊本)

- 華僑をターゲットにしたSNS連動型食バラエティ番組「日本編」。(日本テレビ放送網)

- スタジオジブリの様々な作品世界を入り口に、イメージとなった地域に誘う旅行番組。(博報堂)
- 鉄道で巡る「東北・北海道」旅行の魅力・日本が誇る新幹線の技術を伝える番組。(ジェイアール東日本企画・北海道テレビ)

- 「祭り」、「テクノロジー」などをテーマに日本海エリアの様々な文化・魅力を紹介する番組。(山形テレビ・テレビ朝日系列日本海側4局)

- 日本のソウルフード「おにぎり」をテーマに、各地の具材や観光情報を紹介する番組。(北海道文化放送・フジテレビ系列ローカル局連合)

- プミポン前国王の訪日時の足跡を辿り、エピソードを通じて日本の魅力を紹介する番組。(テレビ朝日)

- 「日本の食材」をテーマに「調理や生産の技術」を紹介し、日本の魅力を伝える料理番組。(日本テレビ系列四国連合・日活)

- 日本を代表する料理人監修の下、和食を科学的に分析し、タイの食文化と和える番組。(毎日放送)

- 広域観光周遊ルート「昇龍道」の「通」なスポット・食・土産・文化などを紹介する番組。(CBCテレビ・TBS-HD)

- 日本人とタイ人パティシエの交流を通して、スイーツカルチャーの本質を描く番組。(テレビ金沢・日本テレビ系列ローカル局連合)

- ASEAN6か国※を対象とした放送コンテンツ海外展開事業(H26補正事業)を通じてもたらされる経済波及効果は、**総額で85.7億円(直接効果:46.2億円 / 生産誘発効果:39.5億円)**
- 事業費約8.4億円に対し、85.7億円の経済波及効果**(約10.2倍)**

※:フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー

放送コンテンツ海外展開事業の
事業費(約8.4億円)

①インバウンド効果

31.6億円

28.3億円

59.9億円

②アウトバウンド効果

14.6億円

11.2億円

25.8億円

計46.2億円

計39.5億円

計85.7億円

<注記>

効果の対象

- ①: 放送コンテンツ海外展開事業で制作した番組の放送によって訪日等インバウンドに寄与して関連産業にもたらした経済効果
- ②: 放送コンテンツ海外展開事業で制作した番組の放送によって日本製品の輸出等アウトバウンドに寄与して関連産業にもたらした経済効果

算出方法

- a: 放送コンテンツ海外展開事業で制作した番組の視聴者へのアンケート調査結果及び関連統計に基づき推計
- b: 直接効果を最終需要と捉え、それぞれ内訳の費目の性質に応じて、総務省『H25年度情報通信産業連関表』の対応する産業へ投入し、誘発される生産額(一次波及効果)及び雇用者所得増加に伴う誘発効果(二次波及効果)を推計
- c: a及びbの合計

注) 単位未満四捨五入のため、計と内訳の乗算値は必ずしも一致しない

日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定)

第2 IV 海外の成長市場の取り込み

(1) KPIの主な進捗状況《KPI》

「2018年度までに放送コンテンツ関連海外市場売上高を現在(2010年度)の約3倍に増加させる。」

⇒2014年度:143.6億円(2010年度:66.3億円)

(2) 新たに講ずべき具体的施策

(中略)工業品やインフラシステムの海外展開のみならず、地域の特色をいかした地場産品、農産品や、**放送コンテンツをはじめとするコンテンツ、サービスの海外展開も推進**する。また、**各分野間での相互連携や、観光をはじめとした他産業との連携も強化**し、地域経済の好循環拡大を図る。

(参考)放送コンテンツ関連海外市場売上高推移

(単位:億円)



知的財産推進計画2016(平成28年5月9日知的財産戦略本部決定)

第3. 1. (2) 今後取り組むべき施策

《継続的なコンテンツ海外展開に向けた取組》

(放送コンテンツの継続的な発信による浸透)

- ・日本の文化、伝統、技術、産業、地方の魅力などをわかりやすく伝え、我が国の国家戦略であるビジット・ジャパン、クールジャパン、地方創生等に寄与する観点から、BEAJとも連携しつつ、日本の魅力を伝えるコンテンツの制作や、継続的に発信する取組を支援するほか、こうしたコンテンツの制作技術や発信技術の高度化を支援する。(後略)

明日の日本を支える観光ビジョン(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)

新たな目標への挑戦

訪日外国人旅行者数

- 観光先進国という新たなステージへ進むためには、2020年に2000万人という目標に満足することなく、さらなる高みを目指す必要がある。

このため、訪日外国人旅行者数については、**2020年には約2倍となる4000万人、2030年には約3倍となる6000万人**を目指す。